

令和5年度福島県立湖南高等学校第2回学校運営協議会 議 事 録

❖日 時：令和5年7月12日（水）14：35～15：45

〔出席者〕

委 員（敬称略・順不同）

満田 仁一、佐藤 忠男、大内 紀男、鈴木 勝美、桑名秀一郎、和田 祐樹、片平 力也、
山口 正国、野口 智行 オブザーバー：内野 正幸（城北埼玉高校）
（欠席者：小山伝一郎、石田 慶仁、薄 良枝）

事務局

菊池由喜男、会田 房男、森 修、渡部実和子、大山 洋子

❖内 容

1 開会のことば 菊池教頭

2 会長あいさつ 満田副会長

小山会長が体調不良のため欠席されておりますので代わって挨拶させていただきます。

本日は、ビブリオバトルという初めて聞いたものの授業の一部を拝見させていただき、私も生徒の発表を聞き感心するとともに、勉強させていただきながら聞いておりました。

校長先生をはじめ担当される教職員の方々も新しくなりましたが、運営委員の皆さんは昨年からの引き続きとなります。運営委員の皆様から多くの御意見をいただき、魅力ある湖南高校づくりのために引き続き御協力いただきたいと思います。本日はよろしくお願ひします。

3 校長あいさつ 野口校長

本日はお忙しい中、御参加いただきありがとうございます。

さて、私も4月に着任し、「蕎麦プロジェクト」と「米粉大作戦」が二本柱となっており、更に各学年の探究活動を通して課題探究を進めさせていただいております。先日、2学年の探究活動において「ちまきづくり」のために笹の葉を取りに行った際、3年生が講師として参加し、下級生に指導をしている姿を見て、これがコミュニティ・スクールの良さであり1学年から3学年までが連携し学校の教育活動に取り組んでいる姿に改めて感動しています。これまでは地元の方々の御協力をいただきながら御指導いただき、今度はその部分を生徒達が担っていることが、コミュニティ・スクールとしての良さであり、今後も地域の皆様に御協力をいただきながら、生徒達のスキルアップに繋がる活動をしていきたいと思ひます。また、学校行事でも、地域の皆様の協力をいただき感謝しております。

部活動に関して、ボート部では男子女子ともに東北高等学校ボート選手権のシングルに出場し、いずれも3位に入賞しました。蕎麦部は生徒5名教員2名が、桑名さんや大島そば道場の指導をいただき、初段位認定を得ることができました。ソフトテニス部は総体で入賞はできませんでしたが生徒達は2勝し、喜んで帰ってきております。音楽PC部はなかなか発表の機会はありませんが、様々な発表や資格試験に向けて現在も頑張っています。

最後に、現在、校内ではスクールポリシーを踏まえ、スクールミッションの検討をしております。簡単に申し上げると、湖南高校でどんな生徒を育てたいのか、そのためにはどんな学びが必要なのか等、若手4人がプロジェクトチームとしてまとめております。その上で、運営委員の様

にも内容を御理解いただくとともに、御意見を頂ければと考えています。

今後も、生徒の安全安心を確保しながら学校活動を進めてまいりますので御協力のほどよろしく申し上げます。

4 城北埼玉高校 内野 正幸 様 (オブザーバー)

昨年の稲刈りから、湖南高校との交流が始まりお世話になっております。

本校は埼玉県川越市にありまして、フロンティアコースで学ぶ生徒達がフィールドワークと共同学習の2本柱として授業を進めています。周囲は湖南高校と同じように田んぼが多い地域にあり、稲作も盛んに行われております。

城北埼玉高校としては、どこかの地域との関りを進めたいという思いから、現在、湖南高校で御指導されている前先生の御紹介をいただいたのが始まりです。このフィールドワーク活動を通じ高校生が大人と出会う刺激の他に、同世代との繋がりとその地域への愛着を持つのだと感じさせていただいています。すでに現在の高校2年生は3回ほど湖南高校に足を運ばせていただきましたが、生徒同士が繋がりを連絡を取り合っている中で、「川越に行ってみたい」などの声を聞くと、生徒同士の友情が芽生えており地域学習を行う上でもすごく大切であり、素晴らしい体験をさせていただいております。今回はオブザーバーとして参加させていただきますので、今後ともよろしく申し上げます。

5 学校からの報告事項 ※資料2ページから11ページ参照

❖ 菊池教頭より活動状況について資料を基に以下の件について報告された。

(1) 地域探究部 (そば部) の活動報告

- ・ 蕎麦検定初段認定7名合格 (6/10) …… 資料P 2
- ・ 男女共同参画事業への参加 (6/24) …… 資料P 3
- ・ 夏祭りへの参加 (7/22)
- ・ ハッカソンキャンプ in 猪苗代湖畔 (9/10)

(2) 総合的探究活動 他…………… 資料P 4～

※総合的探究活動については映像を視聴し説明

(3) 東北総合体育大会出場【ボート部】 …… 資料P 10

(4) 城北埼玉高校との交流について …… 資料P 11～

(5) 菱の実 (長友氏とのコラボについて)

このことについては第1回運営協議会時に、小山会長よりお話をいただき、その後、委員の和田氏にも御協力いただき、猪苗代町の町会議員である長友海夢さんに来校いただき、取組み内容等について説明をいただいた。

❖ 和田委員より長友氏の取組みの概要について以下のとおり説明を頂いた。

長友氏が以前、地域おこし協力隊として猪苗代町に残り、その活動を通して菱という植物が猪苗代湖の環境を害しているということに気付かれ、その厄介者の菱をどうにか商品化できないかということで菱の実を利用した「お茶」の販売や、自ら蕎麦を打ち販売している。湖南地域でも菱の実が採れるということで、湖南高校で活動している湖岸清掃の代わりに菱の実を採って、植物の駆除を実施しながらその後に、六次化商品の製作などにも繋がられる活動にできればと考えており、湖南小中学校と協力して活動できるように検討してはどうか。

(6) 東京農工大学生との連携について

❖ 菊池教頭よりこれまでの経過について以下のとおり説明された。

大学4年生の東海林氏から学校ホームページに掲載されている湖南高校の蕎麦プロジェクトの活動を見て、学校代表メールに連絡があり、湖南町で実際に焼き畑と普通に種を蒔いた蕎麦の成育状況を卒業論文にしたいと相談があり、郡山市を通じて委員の桑名氏に協力依頼をされておりました。農地が見つかり、実際に焼き畑のための準備を進めたいとの連絡を受けている。また、8月3日に本校で実施する蕎麦の種蒔きに参加することになっています。また、このことについて、委員の桑名氏から補足説明を頂きます。

❖ 桑名委員より現在の状況について以下のとおり説明を頂いた。

郡山市より連絡があり、焼き畑のできるような荒廃地があるかの相談を受けて探した結果、借用できる荒廃地がようやく見つかった状況である。今後、連絡を取りながら協力していきたいと考えております。

6 協議

(1) 学校の魅力化のための意見交換（要約）

☆コミュニティ・スクールの指定を受けてからこれまでの取組について

- ・指定を受けてから4年目となり、その活動は学校と地域の皆さんが一体となった取り組みとして素晴らしいと捉えている。何よりも生徒の皆さんが安心して学校生活を送っていることを、本日のビブリオバトルを見ても感じられた。多くの方に学校の様子を見ていただきたいと感じている。
- ・コミュニティ・スクールが始まり、蕎麦部の活動も3年目になる。湖南高校としては地域に何か貢献できればと活動してきている。
- ・現在は生徒たちも蕎麦打ちを覚え、昨年は東京にそば部が出向き活動を実施するなど色々に地域のイベントに参加してきたが、今年度は地域のお祭りに高校生が協力したり、郡山市の行事に参加し、学校と地域と一緒に活動できる状況ができてきてうれしく思っている。今後も地域に根付いた活動を実施して行ってほしい。

(2) 「コミュニティ・スクールと進路実現」に向けて

☆就職希望生徒に対する模擬面接の実施についてのお願い。

- ・昨年度に引き続き、地元の方々に就職希望生徒の模擬面接を実施していただきたいと考えております。教職員の目線と企業等の方々からの指導では違った観点から御指導いただけることから今年度も御協力お願いします。 ☞ 今年度も引き続き協力いただくことで了承。

(3) その他

☆スクールポリシー作成に伴うループリックの策定について ※別紙資料を基に説明

- ・スクールミッションはすでに発表されており、それぞれ学校ごとに学校独自の目標が統一された様式で発表されている。今後、学校の特徴を踏まえスクールポリシー（より鮮明な目的を持ってどういった生徒を学校や地域で育てていくか）を公開する準備を進めています。今後、地域の皆様からも本校で育ててほしい生徒像があれば御意見いただき、ループリックを踏まえスクールポリシーの策定を進めていきたいと思っております。

7 閉会のことば 菊池教頭

諸連絡 次回、第3回学校運営協議会は10月5日（木）です。よろしく申し上げます。